

ひまわり

支えられる手

いつかその手が

支える側に



第14回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 原野 秀隆 様

- 2 祝 敬老「福寿園長寿番付2018」
- 3 子ども食堂
連載●マジックワード紹介
- 4 ▶ 5 第27回職員合同研修会
- 6 ▶ 7 第9回利用者満足度調査の結果について
- 8 ▶ 9 各施設夏祭り報告
- 10 連載vol.32●「記録に残したい記憶」
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 11 ▶ 14 各施設トピックス
- 15 ▶ 16 福寿園ニュース
- 17 家族会だより
- 18 連載●New ひまわりギャラリー
連載●ボランティアさんいつも
ありがとうございます
連載●外国人介護福祉士候補者
リレーインタビュー
- 19 秋の文化祭のご案内
- 20 福寿園をはぐくむ会「未来」
社会還元事業のご案内

141号

平成30年9月10日



祝敬老

おめでとうございます

今年の9月17日は敬老の日です。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になるようにとの願いも込められています。

お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

祝敬老

福寿園長寿番付二〇二八

平成三十年秋場所
年齢はすべて平成三十年八月末日現在です。
行司 山田浩三 (敬称略)

東

横綱	伴	さつ	一〇二歳
横綱	森下	時子	一〇二歳
大関	三宅	ダイ	一〇三歳
関脇	伊賀	里枝	一〇二歳
小結	藤井	しき	一〇一歳
前頭	成田	花子	一〇二歳
二重	神谷	由き	一〇二歳
三のみ	三浦	シマ	一〇二歳
同	伊藤	みつ	一〇二歳

五田	水野	まき	一〇二歳
六花	里川	民子	一〇二歳
七武	黒	雪枝	一〇二歳
八	神谷	しづ	一〇二歳
九	荒河	仲男	一〇二歳
十	森	京子	一〇二歳
十一	美井	スエ	一〇二歳
十二	小川	ユキ	一〇二歳
十三	渡邊	みや	一〇二歳
十四	廣沢	初子	一〇二歳
十五	森下	とみ	一〇二歳

十	山本	とし	一〇二歳
二	永禮	禮子	一〇二歳
三	柴田	スエ	一〇二歳
四	早川	アキ	一〇二歳
五	早川	スエ	一〇二歳
六	山房	シマ	一〇二歳
七	山房	シマ	一〇二歳
八	山房	シマ	一〇二歳
九	山房	シマ	一〇二歳
十	山房	シマ	一〇二歳
十一	山房	シマ	一〇二歳
十二	山房	シマ	一〇二歳

西

横綱	斎藤	志づ	一〇二歳
大関	河合	よし	一〇三歳
大関	内藤	ハツエ	一〇三歳
関脇	加藤	ちよ	一〇二歳
小結	里川	末子	一〇二歳
小結	外村	すあ	一〇二歳
前頭	岡本	五百江	一〇二歳
二重	大山	きい	一〇二歳
同	尾賀	あつ	一〇二歳
同	吉村	はる	一〇二歳

五	津牧	玉枝	一〇二歳
六	市川	ラト	一〇二歳
七	尾崎	スミ	一〇二歳
八	志	ずあ	一〇二歳
九	伊藤	つじ	一〇二歳
十	吉峯	文子	一〇二歳
十一	豊島	モミ	一〇二歳
十二	中神	かつ	一〇二歳
十三	山本	ユキ	一〇二歳
十四	山本	ユキ	一〇二歳
十五	山本	ユキ	一〇二歳
十六	山本	ユキ	一〇二歳

十	山本	とし	一〇二歳
二	永禮	禮子	一〇二歳
三	柴田	スエ	一〇二歳
四	早川	アキ	一〇二歳
五	早川	スエ	一〇二歳
六	山房	シマ	一〇二歳
七	山房	シマ	一〇二歳
八	山房	シマ	一〇二歳
九	山房	シマ	一〇二歳
十	山房	シマ	一〇二歳
十一	山房	シマ	一〇二歳
十二	山房	シマ	一〇二歳

子ども食堂

おばあちゃんちは ひまわり邸食堂



7月27日、豊田市内福祉施設内での開催は初めてとなる、子ども食堂「おばあちゃんちはひまわり邸食堂」が、ひまわり邸にて開催されました。子どもたちが、おばあちゃんの家「ただいま」と帰ってくるような場所を目指しています。共働き世帯、ひとり親世帯など、家族と食事を取る機会が少ない子どもたちに、栄養バランスのとれた食事を提供します。ひまわり邸の職

員をはじめ、グループホームの利用者、豊田地域看護専門学校の学生ボランティアも参加し、子どもたちが高齢者や地域の人との交流を楽しむことも目的としています。また地域のお母さん達へ福祉施設を知るきっかけとなり、就労につながることも期待されています。今回は子ども23名、大人15名、グループホームの利用者7名、学生ボランティア13名と、大勢の方に参加してい



ただきました。皆で歌を唄った後に、特製ハンバーグ定食を食べ、最後にスイカ割りをして大盛り上がり。たくさん笑顔を見ることができました。今後は毎月第4金曜日に開催し、参加費は幼児50円、小中学生100円、大人200円です。

連載①

介護現場で生まれた マジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍『介護現場で生まれたマジックワード100』について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。今号より、1ワードずつ感想を添えてご紹介します。

すぐに来ますから、
いつでもコールを押してください。

「あなたが夜勤なら安心だなと言われる職員になりたい」と書いた就職志望動機を思い起こす出来事がありました。

枝さんの不安な顔が笑顔に変わりました。その後、安心して眠れたのか、ナースコールは鳴りませんでした。介護職について15年以上。心に描いていた、理想の職員に少しでも近づけたのではないかと嬉しくなりました。

(特別養護老人ホーム・介護職員)

夜勤中、一枝さんからナースコールがあり、お部屋へ伺いました。「さっきも呼んだのにごめんね。またトイレに行きたくなっちゃったけどいいかな？」気まずそうに話す一枝さんに、「大丈夫ですよ。私たちの仕事だから気にしないでください」と伝え、トイレに付き添いました。

トイレの後、「ありがとね。またコール押していいかな？」と一枝さん。私は「すぐに来ますから、いつでもコールを押してください」と答えました。その瞬間、一

・初心を思い出す言葉でした。

・ナースコールが多いと夜勤が大変というイメージがありますが、何か不安だから押すのであって、その不安を取り除ける素敵なマジックワードだと思った。

・自分も利用者から安心していただける職員になりたいと思いました。



第27回

職員合同研修会開催



第27回職員合同研修会が、7月15日、ロワジールホテル豊橋において289名の参加で開催されました。はじめに行われました今年の永年勤続表彰は、30年、25年、20年、15年、10年、5年と97名の職員が表彰されました。それに続き29年度の「気づき大賞」の表彰も行われました。その後、山田理事長より「中長期経営計画と田原本館特養建替えについて」の基調報告と、中立施設部長から「第9回利用者満足度調査結果」の報告がありました。

午後からは3名の外部講師による講演があり、まずフィリピンのミンダナオ国際大学の学長 マリヤリ・イネス氏による、「フィリピン人の国民性と日系人の歩み」のテーマで講演していただきました。福寿園は多くのフィリピンEPA介護福祉士候補者を受入れたり、ミンダナオ国際大学には福寿園クラスがあります。フィリピン人の国民性を学ぶ、良い機会となりました。

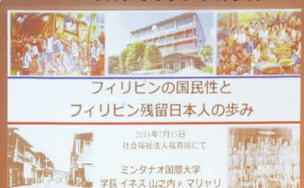
次に、ユマニテック医療福祉大学校講師 大塚亮氏による、「健康寿命を延ばす介護予防のあり方」通所介護における心身機能の維持に係るアウトカム評価の導入にむけて」のテーマで、リハビリについて専門的な講義をしていただきました。

講演I「フィリピン人の国民性と日系人の歩み」

フィリピン日系人会連合会 会長
ミンダナオ国際大学 学長
マリヤリ・イネス 氏



第27回 職員合同研修会



最後に「日本の高齢者福祉の現状と今後の展開」のテーマで、淑徳大学教授 結城康博氏の講演でした。社会福祉法人のこれから、施設における地域貢献の在り方などをわかりやすく講演していただき、100分の講演時間も短く感じられるほどでした。これからの社会福祉法人のあり方を、研修に参加している職員一同が考えることができた、貴重な講演でした。

研修会終了後には懇親会が行われ、イネス学長、結城教授にも参加していただき、勤続表彰者によるカラオケなど、会を大いに盛り上げてくれました。職員間の交流も法人全体で図ることができ、充実した1日となりました。



勤続者表彰式



講演Ⅱ「健康寿命を延ばす 介護予防のあり方

～通所介護における心身機能の維持に
係るアウトカム評価の導入にむけて～

ユマニテク医療福祉大学校 講師 おおつかりょう 大塚 亮 氏



平成29年度 気づき大賞



金賞 池亀沙織さん(花の里) [中央]
銀賞 玉置由佳さん(武豊福寿園) [右]
銅賞 竹内志保さん(みなみ福寿園) [左]



講演Ⅲ「日本の高齢者福祉の 現状と今後の展開」

ゆう き やすひろ 淑徳大学 教授 結城 康博 氏





第9回 利用者満足度 調査の結果に ついて

調査の概要

第9回満足度調査は前回に引き続き特定非営利法人しんしろドリーム荘（愛知県新城市）に委託をして、平成30年1月下旬から3月中旬まで、聞き取り及び郵送による調査を行いました。4,817人に配布し3,817人（回収率66%）からご回答をいただきました。養護盲老人ホーム、ケアハウスのみ、グループホームひまわり邸においては回収率100%、くすのきの里においては、全事業所において80%を上回る回収率でした。しかし中には40%を割る低い回収率の事業所もありましたので、回収率アップにおいて職員意識を高めていく必要があります。回収後は、膨大なデータや貴重なご意見をすべて入力して考察を加えたう

えで冊子化して、7月中旬に開催された職員合同研修会で全職員に配布しました。7月下旬より各施設において読み込みを開始し、8月には各施設において順次対策会議を開催して、改善に努めています。

聞き取り調査

今回も特養・ケアハウス・養護等の入所者で、自身でアンケートの記載が難しい利用者については、聞き取り調査を実施しました。調査員による温度差を完全になくそうということで、今回も調査の委託先であるしんしろドリーム荘の代表理事 山本拓哉さんが、一人で法人16施設を回って調査票の質問項目に沿って、約370名に聞き取りをしてくれました。今回も多くの方が話を聞いてもらえてすっきりした」と歓迎してくれたそうです。中には山本さんの来園を心待ちにしており、前回、山本さんを介して記載した要望がすぐに改善されたと喜んで報告してくださった利用者さんといったことで、山本さんも「嬉しかった、また2年後が楽しみです。」と報告してくださいました。聞き取り調査も回数を重ねるうちに、「元気な姿で山本さんに再会することも、利用者の目標になっているようです。

調査結果の概要

調査結果についての『考察』には、山本さんに感じたままに遠慮なく記載していただきました。

職員にすれば耳の痛いご意見も沢山いただきましたが、冊子の配布にとどまらず、早急に改善すべき内容、共有すべき内容については、合同研修会においても報告をしました。

「職員さんは、いつも忙しそう」と現場の人手不足を理解しつつも、ご利用者からもご家族からも「もっと声を掛けてほしい」という要望が沢山寄せられました。職員の態度やマナー、介護技術においても「職員教育をしっかり行ってほしい」という要望のほか、「庭に出る程度でよいので戸外へ出たい（出してほしい）」、「掃除をしつかりやってほしい」等の声をいただきました。利用者の楽しみは、ダントツで「おしゃべり」であり、不満は「やることがない」、「話し相手がいない」、「一人でさびしい」、です。また入所サービス、デイサービスにおいては「リハビリの充実」を望む声も多く寄せられました。そして「一番気になるのが「職員さんは優しいけれど冷たい。」というご利用者のコメント。言葉遣いは丁寧だけれど、どこかよそよそしい・・・ということでしょうか。『忙しい』とは

心を亡くすこと。現場職員のせいばかりでなく、思うように職員が配置できないことも大きな要因です。山本さんも、「優しさとは感受性を育むことであり、傷ついた経験がある人こそ優しいのでは・」と考察しています。また言葉が通じない時もあるけれど、若い外国人スタッフは「元気をもらえると評判も上々です。」

パーフェクトでなくてもよいから①人としての優しさを忘れないこと、②その上に確かな技術を身につける。福祉の基本を疎かにしてはならないことを痛切に感じました。またご利用者と私も職員では微妙に目線がずれていたようなことも沢山ありました。例えば、怪我や骨折を心配するあまり、ご利用者の行動を抑制するような声かけやコールマットの使用になっていないか、福祉用具の活用の仕方についても再検討して参ります。

認知症の方や体が思うように動かせない高齢者を思いやる情操教育、介護技術基礎研修の実施や書類作成業務の効率化、人材雇用にも、法人をあげて取り組んで参ります。

各施設の主な課題

各事業所において、すぐに改善できるものについては、早急に取り組み、

改善結果についても各施設においてその都度お知らせしていきますが、各施設の重点項目については以下に示し、利用者の皆様に対して改善に努めることをお約束します。

■養護盲福寿園

①食事（味噌汁）の味のばらつきをなくす、②食事中の温かい雰囲気づくり（細やかな声かけ）、③クラブ活動の活性化（参加者の増員）

■田原福寿園

①小規模または個別のレクリエーションの充実、②優しい声がけと対応、③家族との密なコミュニケーション（面会時の報告等）

■田原ゆの里

①ユニットを出る機会（ユニット外での活動）を増やす、②優しい声がけの実践（認知症勉強会の実施）、③レクリエーション・リハビリの充実

■ケアパシフィック

①健康相談の強化と血圧計の購入、②談話スペース・図書コーナーの設置、③市内送迎サービスの増便

■渥美福寿園

①心のこもった優しい言葉掛け、②利用者・家族と顔の見える関係の構築、③心から満足できる食事の提供（おかわりできる雰囲気づくり）

■花の里

①利用者の好みを尊重した食事の提供、②身体を動かす機会づくりとリハビリ

の充実、③個別ニーズに沿ったケアの提供

■昭和の里

①施設設備の改善・補修、②食事メニューの充実と適温配膳、③利用者本人の意向を尊重したケアプランの作成

■豊田福寿園

①タンスの整理整頓と衣類の清潔保持、②入浴ケア方法の標準化、③デイの口腔ケアの徹底

■みなみ福寿園

①お年寄りを敬う言葉遣い、②身だしなみの確認、③ベッド回りの清掃と整理整頓

■ケアみなみ

①個別訪問による悩み相談・おしゃべりタイムの設定、②食堂の渋滞の解消、③外出支援バスの午後便の開始

■ひまわりの街

①食事スペースの床貼り替えと清掃の徹底、②ショーツステイのシャワートイレの設置、③個別リハビリの実施、④余暇活動の充実（フィットネススペースの確保等）

■ひまわり邸

①デイの家族要望の職員間での共有、②ヘルパーのケア方法の統一、③トイレの清潔保持（共通）

■武豊福寿園

①気軽に参加できるクラブの充実、②空調機器のメンテナンス整備（快適な温度設定）、③面会時の挨拶・近況報

告の徹底

■ケア武豊

①修理・部品取替えの即日対応（経過報告）、②利用者の好みに合った食事の提供（月1回の利用者意見の徴収）

■くすのきの里

①温かさが伝わるケアの実践、②居室の清潔・整理整頓、③デイの送迎時間の誤差の解消

■ケアきぬうら

①市内のバス送迎ルートの充実、②いつでも挨拶できる雰囲気作り、③将来の不安を相談できる体制の構築、④デイの行事開催曜日の平均化

■東海福寿園

①コミュニケーションの充実（事前説明と声かけの徹底）、②食事の満足度の向上、③介護予防を念頭に置いた個別リハビリ

その他のご要望につきましても、一つ一つ順に改善に努めてまいります。

最後になりますが、ご要望のほかに、感謝の言葉もたくさんいただき大変励みになりました。具体的なコメントを添えてアンケートをお寄せくださった皆様にお礼を申し上げますとともに、この報告書は各施設に置いてありますので、ご自由に閲覧ください。ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。

今年も各施設で 夏祭り が行われました

夏祭りの行事は地域交流も目的としています。今年もたくさんの地域の方、ボランティアの方にご協力いただき感謝申し上げます。

平成30年度の各施設夏祭り来場者数は下表の通りです。

各施設夏祭り来場者数

開催日	施設名	地域の皆様	ボランティア
7月29日	東海福寿園	501	110
8月3日	ひまわりの街	660	103
8月4日	花の里	344	5
8月5日	くすのきの里	141	57
8月9日	養護盲・田原福寿園	268	37
8月10日	みなみ福寿園・ケアハウスみなみ	632	76
8月11日	豊田福寿園	125	25
8月11日	武豊福寿園・ケアハウス武豊	431	92
8月18日	ケアハウスきぬうら	300	39
8月24日	ひまわり邸	313	38

7/29 東海福寿園 第12回夏まつり

原点回帰の今年はテーマも「夏祭り」とシンプルに、盆踊りと屋台で入居者の皆さん、地域の皆さんと一緒に楽しみました。台風の影響もあり、屋外の盆踊りは叶いませんでしたが、それでも大勢の方に参加していただきました。今年も中ノ池婦人部や明和クラブの皆様と併せて100名を超えるボランティアの方々に支えられ、楽しい夜を過ごすことができました。



8/3 ひまわりの街 第12回夏まつり



この日は豊田も最高気温39℃とても暑い日でしたが

だんだん日が陰って風も心地よくなり、例年同様、多くの皆様にご来場いただきました。今年は平成最後の夏ということで、

テーマも「EYES ON LAST SUMMER 最後の夏」と、平成を意識したステージやBGM、飲食コーナーの装飾を施しました。多くのボランティアのご協力もあり、大盛況でどなたも笑顔で過ごすひと時となりました。

8/4 花の里 花宵まつり



今回の催しは、桜ヶ丘高校ダンス部OBによるキラキラダンスと虹の会による力強い和太鼓の演奏でした。屋台、ゲームコーナー、じゃんけん大会も好評で、小さなお子さんにも楽しんでいただけました。特に最後の餅投げは、大いに盛り上がりしました。自治会をはじめご家族の協力もあり、地域の方々との良い交流の機会となり、楽しい夏のひと時を過ごすことができました。

8/5 くすのきの里 第11回くすのきまつり



今年は開設10周年にちなみ、くすのきの里「くすのき」10年の歩み、新たな一歩をテーマに行いました。猛暑の影響もあり、くすのきホールにやぐらを建て、室内で行いました。10周年ということで、鏡開きで盛大に祝い、その後の餅投げも大変盛り上がりしました。祭りの最後には、お神輿を担いでホール内を練り歩き、和太鼓の演奏で夏祭りを締めくくりました。今年も来場者が多く、大盛況で記念になる一日となりました。



今年のテーマに「30周年 感謝の夏」を掲げ、30年前に流行した曲に、会場いっぱい提灯や風車を飾り、30年前に戻った様な雰囲気を楽しんでいただきました。恒例の職員よさこいソーラン節はとも迫力があり、会場の皆様から「待ってたぞー！」の声や、アンコールも響き渡りました。会場全体が一体になり、心もお腹も満たされた、とても良い夏の思い出になりました。

8/11 豊田福寿園 どまんなか祭りin豊田

今年のテーマに「30周年 感謝の夏」を掲げ、30年前に流行した曲に、会場いっぱい提灯や風車を飾り、30年前に戻った様な雰囲気を楽しんでいただきました。恒例の職員よさこいソーラン節はとも迫力があり、会場の皆様から「待ってたぞー！」の声や、アンコールも響き渡りました。会場全体が一体になり、心もお腹も満たされた、とても良い夏の思い出になりました。

8/9 養護盲・田原福寿園 納涼祭

心配された台風の影響もなく、好天に恵まれ、迫力満点の豊丘高校和太鼓部の皆さんによる演奏が幕開きとなった福寿園納涼祭。今年のテーマは『歌って・踊って・和になって』。たくさんの方がやぐらを囲んで、賑やかな盆踊りや手持ち花火を楽しみ、締めくくりには次々打ち上がる花火が夏の夜空にきらめきました。会場の一体となり、まさに皆さんとの心の「和」を感じさせる一夜となりました。



8/11 武豊福寿園・ケアハウス武豊 納涼大会



当日は天気にも恵まれ、祭りに参加されたお年寄りも普段飲むことのないビールを飲まれたり、屋台で好きな物をチケットと交換して楽しめました。普段お世話になっている地域の方々もたくさん来場してくださり、毎年恒例となっている東大高子供離子や、盆踊り、飲食バザーを楽しみました。また、粉山町長さんが飛び入りで櫓の太鼓を披露してくださり、華を添えていただきました。

8/10 みなみ福寿園・ケアハウスみなみ 第22回盆踊り大会

テーマを「地域の笑顔のために」と題し、盆踊り大会を開催しました。今年はおなじみの盆踊りに加えて、早川流の太鼓の演武や、劇団「笑劇派」の皆さんの劇、そして職員による太鼓の演奏を行い、会場は大いに盛り上がりました。祭りの最後を飾る打ち上げ花火には、大きな歓声が上ががり、大好評でした。地域の皆様からも「とても楽しかったです」とのお言葉をいただきました。



8/18 ケアハウスきぬうら 地域交流フェスタ



「祝!! 20周年 今宵は熱く盛り上がるうぜ!!」をテーマに、今回の催し物は、知多地区の人氣ギタリスト「山ちゃん」と愉快なギター仲間「ハピネス」と、福寿園和太鼓サークル「響」の二組。一組目はクラシックギター6人とフルート、ベースを呼んで往年名曲を演奏。みんなで大合唱しました。二組目はお馴染みの響メンバーに加えて、きぬうらの職員も初めて太鼓を練習し、入居者も踊りで参加。職員の頑張り、拍手と笑いが巻き起こりました。締めの大ビンゴゲーム大会には、100品の商品を用意しました。テーマ通り熱く盛り上がった祭でした!

8/24 ひまわり邸 第7回夜邸会



台風の影響により屋内開催となりましたが、ご家族や地域の方々、先月オープンした子ども食堂の親子など、多くの方が参加されて賑やかな会となりました。屋台からは美味しい匂いが漂い、ステージではインドネシア人介護福祉士候補生の笑顔いっぱいダンスにつられて、入居者が一緒に踊り出すなど微笑ましい一幕も。そして、夏の夜を彩る心地よいジャズの音色に、会場内もうっとり。地域の方々から「毎年、孫と楽しみにしているのよ」と嬉しい声も聞かれ、みんなの笑顔がいっぱいの夜邸会となりました。

渥美福寿園

7月28日に夏祭りを予定していましたが、台風接近のため、参加者・ご利用者の安全を考慮し、止む無く中止とさせていただきます。

連載 32

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



決めたので、後から背の低さに気づいてビックリした事は、よく笑い話にしています。

44歳から医療専門学校へ通い、若い人ばかりの中で楽しい学校生活を2年間過ごしました。そして「あん摩マッサージ指圧師」の国家試験に合格。指圧・マッサージの仕事をして、森繁久弥さんなどの有名人を施術したのはいい思い出です。

私は三重県的美鹿という自然豊かな山間に生まれ、兄が1人、姉が6人いる末っ子でした。
当時は戦争真っ只中、兄や仲良くしていた青年団の人達は戦争に行き、亡くなりました。「世界中から戦争や争いが無くなると良いのに」と、この時から今でもずっと思っています。
27歳で石川家へ嫁ぎました。夫・四郎は、「あき子」は語呂から「飽きる」からいけないと言い、私のことを「ひろこ」と呼ぶ面白い人でした。そんな夫と初めて会ったのは見合いです。座って話をして結婚を

戦後の時代で家計は苦しかったですが、「この世で起ったことは、この世で片付くから心配しない」と、自分に言い聞かせ、いろいろな事にチャレンジして、常に前向きに生きてきました。
現在生活している武豊町へは、娘の結婚をきっかけに転居してきました。そこで家を建て、働いている娘に代わって3人の孫を厳し



石川 あき子
(武豊福寿園)

プロフィール

生年月日…大正11年12月20日
出身…三重県桑名市多度町美鹿
好きな言葉…人生、チャレンジ！

く育てました。孫に手が掛からなくなった頃から、夫と年に2〜3回、海外旅行に出かけました。知らない土地に行くのはとても楽しく、夫婦でいい趣味をもてたのは嬉しかったです。

脊柱管狭窄症を患い、80歳で起きるのも苦痛になったため、背中を25cmも切開する大手術をしました。長い入院生活でしたが、家族の助けもあり、夫の家庭菜園を手伝えるほど回復しました。花を植え、

フラワーアレンジも楽しみました。2年前、夫が96歳で亡くなり、とても悲しかったですが、心を静め「いづれ、みんなこうなるんだ」と向き、自分を納得させました。

今は認知症を患い、福寿園に入所し、美味しい食事や優しい方々に囲まれ、幸せな日々を過ごしています。毎日来てくれる娘や孫のことをだんだん忘れていつているような気がします。でも、大切な家族のことは心の中でずっと忘れず、お互いに思い遣っていきたいと思っています。



各施設 TOPICS トピックス



きゅうり収穫

豊田福寿園

デイスリーブセンターでは、「ゴーヤ・トマト・キュウリ・ピーマン」の4種類の夏野菜を、植え付けから水やり、肥料まで、ご利用者さんと一緒に育てています。先日、ついにキュウリとトマトの収穫の日がやってきました「わーっ!!これはいいキュウリだ」「立派なのができたね」と大きな歓声があがり、ご利用者・職員共に数か月間の苦勞を分かち合いながら、楽しく収穫することができました。



東海福寿園

横須賀高校お抹茶会

8月2日、横須賀高校茶道部の皆さんによる抹茶会が開かれました。総勢16人の生徒さんに来ていただき、養護入所者15名、デイスリーブ利用者42名の方が参加されました。

抹茶会ではお夢のボランティアさんも3名来られ、生演奏にて和の雰囲気を出してくださいました。

この日も、とても暑い日でありましたが、季節の和菓子と一緒に抹茶をいただくことで、涼を感じられるひとときとなりました。

みなみ福寿園

デイ・ショート合同夏祭り

デイスリーブ・ショートステイの利用者さんから「施設の夏祭りに私も参加したいなあ」という声があり、7月18日に合同で夏祭りを行いました。櫓を囲み、盆踊りを楽しまれ、また、屋台のやきそばやフランクフルト、アイスクリーム等で食事をされました。最後にスイカ割りを行い、割れたスイカをみんなで食べました。「しばらく祭りに参加してなかったから、懐かしかったです。ありがとうございました。これからも皆さんが楽しんでいただけたらと思います。イベントを開催していきたいと思っています。」



ケアハウスパシフィック

クッキングクラブ



月に1度行われるクッキングクラブですが、今回はクレープを作りました。高齢の方々には馴染みの少ないメニューだったこともあり、参加された入居者さんは興味津々です。目の前で焼いた生地に、バナナやホイップクリーム、チョコソースを思い思いにトッピングしました。生地を焼くのも途中から入居者さんにやっていただきましたが、初めてにもかかわらず薄くきれいに焼けて、ひっくり返すのもお手の物でした。自分で作ったクレープは格別においしいと、おかわりをする方もみえ、楽しいおやつ時間になりました。

デイサービスセンター きぬうら 何が流れて来るかな？

8月8日に、流しそうめんを屋外で行いました。利用者さんより、「そうめんだけを流してもなあ」ということで、胡瓜・ミニトマト・みかん・さくらんぼも用意。そしてまさかのゼリーも登場しました。皆さん悪戦苦闘しながら、流れてくるものを必死にすくっていました。皆さんの楽しい声が響き渡り、また取れたときの笑顔や嬉しい顔がとても素敵でした。



昭和の里 豊橋祇園花火観賞会

7月21日、豊橋の祇園花火大会が開催され、昭和の里駐車場で、デイサービスや就労支援利用者・グループホーム利用者・家族、マンション福寿入居者、関係業者さんや地域の方々と花火観賞をしました。飲食バザーも好評で、天候にも恵まれ夕涼みしながらきれいな花火を観ることができました。



ひまわり邸 梅干し作り

7月17日、グループホームで梅干し作りを行い、利用者の皆様に教えてもらいながら楽しく作業をしました。「紫蘇は塩でもんだの?」「梅は半日干したら返すだよ」と、昔懐かしい作業に皆さん会話も弾みます。おかげさまでとってもおいしい梅干しが完成しました。夏バテしやすい季節を乗り切れるよう、たくさんの献立に登場する予定です。



養護盲福寿園 ミニレスポ

暑さの残る8月19日、田原市身体障害者協会によるミニレスポが開催され、今年も入所者の皆さんで参加しました。



芸能発表では、当施設から職員演奏による童謡合唱を披露しました。他の参加者のカラオケにも耳を傾け、それぞれの歌声に拍手を送り合いました。続いてゲーム大会となり、パン食い競争・輪投げ・ボウリングなどのゲームを楽しみました。

視覚障害を考慮し、声や音での位置を知らせてくれ、的に外れて苦笑いしたり、命中心で嬉しさで笑顔が弾けたりと、参加した皆さんで最後のじゃんけん大会まで賑やかに楽しみました。

開会の言葉にあった親睦・団結を深め合い、それぞれがみんなの前で輝く日となりました。

渥美デイサービス

笑顔のバーベキュー

8月11日、毎年恒例となった渥美デイサービスでのバーベキューを行いました。今年は利用者に加えて、3家族10名の方々が参加してくださり、焼きたてのお肉に野菜・海鮮を堪能しました。普段なかなか接することのできないご家族と、利用者・職員と一緒に笑顔で会食し、暑い夏を乗り越えるためのパワーをたくさん補充しました。

ひまわりの街デイサービス

冷たくいかき氷



かき氷で暑さを乗り切っていたところ、デイサービスご利用の皆さんにデザートとして召し上がっていただきました。

3色のシロップからお好きなものを選択してもらい、ひんやり冷たいかき氷を頼張ると、「冷たくて美味しいね」、「かき氷、懐かしいね」と、楽しみながら召し上がられていました。今年の夏は大変な猛暑で、ご利用者の体調も心配されましたが、皆さんには清涼感を感じていただけたようです。これからも、季節に合わせたデザートを提供など、ご利用者の皆さんに喜んでいただければと思います。



ちた福寿の里

コースター作り

7月27日、手織りの里 木綿蔵ちたへ、コースター作りに出掛けました。機織り機を使ったコースター作りは両手両足を動かさなければならぬこともあり、入居者の方々の表情は真剣そのものでした。若い頃に機織りをされていた方もいて、「懐かしいわ」と思い出を語る場面もありました。全員分が完成すると見せ合いっこをして、「楽しかった」「また来たい」と笑顔で終わることができました。



花の里

祝！100歳

花の里デイサービスを利用されている有我静枝さんが、7月4日で100歳を迎えられました。当日はデイサービス利用日でしたので、ご利用者と職員でお祝いさせていただきました。静枝さんは、入浴サービス、ショートステイも利用されており、多くの職員が声をかけると少し照れながら

ら「ありがとね」と笑顔でにつこり。背筋がピンと伸び、おしゃやかな静枝さんに年齢を聞いて皆さん驚かれました。これからもお身体を大切にしてください。



流しそつめん

田原ゆの里

毎年恒例の流しそつめんを行い、流れる水も涼やかに、皆さん夢中で流れるそつめんを追いかけました。託児所の子どもたちから、「おばあちゃん、がんばれ〜」の声援にニコニコされ、一層気合いが入った様子でした。「こんなこと初めてだよ!」と喜ばれたり、「暑い時はこれにかぎる!」と、皆さん箸がよく伸びました。いつもと変わった食事風景で食欲増進、暑い夏を乗りきりました!



くすのきの里

盆踊り練習

今年も8月5日のくすのきまつりに向け、デイルームに利用者さんと特養入居者さんが集まり、武豊町婦人会の皆さん指導による盆踊りの練習を、2日間に渡り行いました。

皆さんリズムに乗って、車椅子の方も今にも立ち上がりそうなくらいに笑顔で手を振り上げ、中には楽しくて我慢できずに輪の真ん中で踊りに参加される方など、練習ならではの面白さがあり、職員も一緒に踊りながら、くすのきまつりが増々楽しみとなる盆踊り練習となりました。



武豊福寿園

昼間想定避難訓練

7月25日に昼間想定避難訓練を行いました。年間計画に組み込まれ、毎年マニュアルを確認しながら、全職員が協力し、真面目に取り組みました。毎回、防災監視盤の操作確認や消火器の使い方業者指導のもと行います。もしものために基本の動作をしっかりと確認し、いざとなったときにはあせらず避難誘導に取り組めるよう備えて行きたいです。



田原福寿園

美しい歌声に魅せられて



透き通った歌声に人は感動し、心を洗われる思いになります。入居者のお孫さんで、歌手のおかだゆき子さんを招き、ミニコンサートを開催しました。

童謡の「ふるさと」では、おかださんと一緒に「うさぎ追いつ〜」と入居者、職員の大合唱が会場に響き渡りました。中でも後半で披露していただいた、夏川りみさんの「童神」は圧巻です。伸びやかな心地いい歌声が心に届き、感動の涙があふれました。

楽しい音楽会もあつという間にお開きの時間になり、盛大な拍手に包まれながら幕を閉じました。また是非、田原福寿園で素敵な歌声を聴かせてください。

福寿園 ニュース

大相撲名古屋場所観戦

7月11日、相撲好きな入居者と職員総勢24名(6桝)で、今年も大相撲名古屋場所観戦に行ってきました。東の花道のすぐ脇の席とあり、入退場する力士も間近で見ることができました。力強い立会いの音に、大興奮。声援にも自然と力が入ります。大歓声の中、テレビとは違った大迫力を味わいながら、美味しい幕の内弁当も堪能し、大満足のひと時を過ごすことができました。



田原福寿園造成工事地鎮祭

田原福寿園特養（本館）の増床・建替整備事業につきましては、かねてより計画中のところ、この度ようやく造成工事着工の運びとなり、平成30年8月1日に地鎮祭を執行することとなりました。法人の長い歴史の中でも初めての建替計画となりますので、滞りなく進めて行きたいと思います。開設は平成32年10月を予定しています。



MKD-福寿園プログラム 3期生閉講式&4期生開講式



7月3日にMKD(ミナナオ国際大学)-福寿園プログラムの3期生閉講式と4期生開講式が行われました。

3期生19名は1年間の学習でN3レベル(日常的な場面で使われる日本語を理解)の日本語を習得しました。式典では、一人ひとりが想いの詰まったスピーチを行い、同期や職員が涙ぐむ場面もありました。

4期生の19名は、これから1年間、日本語だけでなく介護や日本文化の学習も行っていきます。1年後、日本語で会話ができることを今から楽しみにしています。



福寿園-エスハイ介護留学プログラム 1年間の学習が終了しました!



8月4日、ベトナムのホーチミンにおいて福寿園-エスハイ介護プログラムの閉講式&卒業パーティーが行われました。1年の学習を終え、全く話すことができなかった日本語が自由にコミュニケーションをとれるほどにまで到達しました。閉講式では留学生が1年間の振り返りの感想や今後の目標について一人ずつ日本語で発表し、最後には必ず介護福祉士になると強い決意をみせてくれました。

7月に行われた日本語能力試験ではN2合格者1名、N3合格者15名と惜しくも1名は不合格となりましたが、9月末の留学生来日がとても楽しみです。

山歩きサークル開催



8月26日に、新城市にある乳岩峽へ、職員と家族20名で登りました。登山口では沢のせせらぎに癒され、中盤の急な梯子に悲鳴が響き、見どころの鍾乳石に圧巻される等々、楽しい山歩きができました。猛暑が心配されましたが、思ったより涼しく、安全に活動することができました。

NHK『おはよう日本』取材



8月上旬、田原福寿園へNHK『おはよう日本』の取材クルーがやってきました。昨年11月に施行された技能実習制度に基づく実習生がいまだ来日できていないのはなぜか、また外国人介護士育成の現場について、インタビューや撮影が行われました。流暢に利用者さんと話をするEPA職員の様子や、日本人職員とコミュニケーションをしながら食事介助・移乗介助をする様子などの撮影がありました。

この内容については、8月18日朝のおはよう日本で特集として放送されました。

ISO勉強会

8月1日、日本規格研究所株式会社の代表取締役である鈴木様をお招きし、法人内ISO勉強会を開催いたしました。昨年度のISO規格の変更

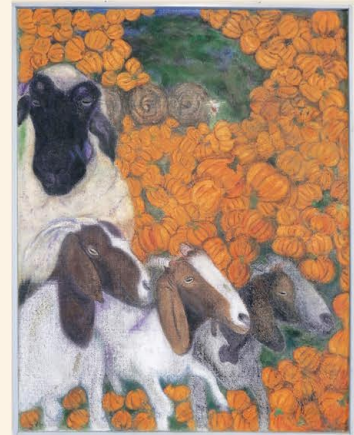


に伴い、マニュアルの改訂作業をしていましたが、規格の意図と合わず職員内での理解力も低いことから、改めてISOの解説と新しい規格のポイントを説明いただきました。規格の要求事項である法人としての内部、外部の課題、利害関係者とのニーズと期待、リスク及び機会への取組みについて再度精査し、今後の仕組みづくりをしていきたいと思ひます。

入居者ご家族様より絵画寄贈

くすのきの里

入居者(故)加古きく様のご家族 堀口友紀様より、退去手続きの際にパステル絵をご寄贈いただきました。堀口様は福寿園が募集する「福祉の絵手紙」でも3度の受賞歴があり、5年前より趣味で習い始めた絵が「春陽会」の年展賞を初め、数々の賞を受賞されたそうです。今回、その中の1つをご寄贈いただきました。「Family」と題されたその絵には羊の家族が描かれ、飾られた一角がまるで美術館のようになりました。ありがとうございました。



ベトナム・ナムディン看護大学来園



7月6日、全国盲老人福祉施設連絡協議会の招きにより、ベトナム・ナムディン看護大学の学生7名と副学長をはじめとする5名の教員が、養護盲・田原福寿園を訪問しました。当大学の卒業生がすでに日本国内で介護・看護人材として活躍しており、東海福寿園のトゥオイさんも卒業生のひとりです。今回の訪問では、施設見学の他に田原福祉専門学校等にも出向き、先々で交流を行いました。将来は日本での就労の希望が叶えられることを願っています。

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

養護官・田原福寿園 家族会清掃ボラ

連日の猛暑の中、家族会の皆さんの協力により、施設内の環境美化に汗を流していただきました。日頃、行き届かない廊下の窓や網戸、ひまわりホールなど、声を掛け合いながら手際よく清掃活動は進み、短時間のうちに見違えるようにきれいになりました。

ラウンジでの懇親会も、各



テーブルではにぎやかな笑い声が絶えず、ご家族、職員の交流が一層深められた一日となりました。

渥美福寿園

家族親睦会草取り&バーベキュー懇親会



7月21日、家族会の皆さんと一緒に毎年恒例となった夏の草取り作業を行いました。

今年は猛暑と言うより酷暑という言葉がふさわしい暑さだったので、作業時間を短縮し、水分補給をしながら作業をしました。年々参加していただくご家族も増え、暑い中でしたが手際よくお手伝いいただき園内も綺麗になりました。外周の紫陽花も生き生き

し、来年はひよっこ綺麗な花を咲かせることができそうです。

作業終了後は、喫茶コーナーで賑やかにバーベキュー懇親会を行いました。暑い中でしたが本当にありがとうございました。

花の里 家族会草取り



7月21日午前、連日に続く猛暑日の中、17名のご家族が草取りに参加してくださいました。あまりの暑さにご家族に声を掛けると、「いつも温室におるだで、これくらい慣れとるでなんともないよ」と頼もしい言葉が返って来まし

た。また、朝5時からの収穫を終えて参加してくれたご家族もおられ、農業の大変さを感じていました。皆さんのおかげで、草に押されてかわいそうだった花は生き生きとした姿を取り戻しました。猛暑の中、皆さん本当にありがとうございました。

ひまわり邸

家族会清掃活動&バーベキュー



強い日差しが照り付ける7月1日、20家族32名の方が施設内清掃活動にご協力くださいました。

裸足になっての玄関の水洗いや、「何でもやりますので言ってくださいね」と、皆さん積極的にやっていただき、車や玄関がぴかぴかになりました。清掃後はバーベキュー！「ああ、うまい！」と汗を流した後の一杯の感想がたくさん聞こえ、焼く係食べる係の連携も抜群に、ご家族同士に職員も含めた楽しい交流の時間となりました。

今後も訪れやすいひまわり邸になるよう努めていきます。ご参加ありがとうございました。

武豊福寿園 家族会の清掃活動

7月29日に19家族25名の家族会の方々にご参加いただき武豊福寿園・ケアハウス武豊の施設内と、その周辺の清掃活動を行いました。8月11日に行われる納涼大会に先駆け、施設周辺の草取りを中心にご尽力くださいました。本当にありがとうございました。掃除のあとは麵バイキングを行い、ご家族と職員の交流を深めました。猛暑の中の清掃活動に感謝いたします。

連載

ボランティアさんいつも ありがとうございます

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

豊田福寿園

末日聖徒イエスキリスト教会の 皆さん



毎月第一火曜日を訪問日とし、ご利用者とお話をしたり、歌と一緒に歌ったり、紙芝居を披露したりと、たくさんの交流の機会を作っています。この日はフラダンスを披露してくださいました。

メンバーは約10名ほどで、25年以上も活動を続けてくださっています。当施設に来るきっかけは、どこかで奉仕活動をしたいと思っていたところ、宣教師さんが以前、豊田福寿園を訪問された時につながりを持つことができ、それ以来ずっと来ていただいているとのこと。ご利用者が楽しみにしてくださり、もっと来てほしいと言われることや、覚えてくださっていることが、励みになっているそうです。今後も、皆様のご来園をお待ちしております。



連載

外国人 介護福祉士 候補者リレーインタビュー

福寿園では、現在46名のフィリピン人、7名のベトナム人介護福祉士(候補者)が10施設に分かれて働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A わたしは写真を撮ることが好きです。日本に来て、日本の有名なところの写真を撮りたいと思ったからです。
- Q 日本で働いてみてどうですか?
- A 日本で働くのは大変だと思います。特に他の日本人職員と利用者とのコミュニケーションです。しかし時間が経つにつれて慣れてきました。
- Q 休日は何をして過ごしていますか?
- A インターネットで家族や友達と話しています。
- Q 日本の食べ物で好きなものはありますか?
- A カニとエビと天ぷらが好きです。
- Q 好きな日本の有名人は誰ですか?
- A 野球の大谷翔平選手が好きです。
- Q 将来の夢は何ですか?
- A 介護福祉士の国家試験に合格して、フィリピンに家建てることです。
- Q 日本に来て嬉しかったことや楽しかったことはなんですか?
- A 日本の有名なところや、北海道に行って、おいしい食べものを食べてうれしかったです。
- Q 介護を始めてやりがいを感じることはありますか?
- A はい、あります。利用者さんの“幸せで元気な顔を見たとき”仕事にやりがいを感じています。
- Q 最後に一言
- A 夢を達成するために努力します。



アカシオ・ステフィ・
ジエン・ビヤモル

ニックネーム
ステフィ
(豊田福寿園)



New ひまわり ギャラリー

入居者・
利用者さんの作品
をご紹介します。

作品

ペンダントトップと指輪



くすのきの里デイサービスセンター利用者
山本ふさ子さん・小笠原さわ子さん

「色の組み合わせが素敵でしょ?」
「きれいにできて、うれしいです!」

養護盲福寿園・田原福寿園

増位山太志郎特別ショー



秋の文化祭

開催予告

各施設とも、入場は無料です。

● お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

みなさんのお越しをお待ちしております。

第28回 福寿園文化祭

10月7日(日) 10:30～15:00

♪「そんな夕子にほれました」

- チャリティバザー ● 飲食バザー
- 介護相談 ● ゲームコーナー ● 餅投げ など

ちた福寿園

仁支川峰子特別ショー



ちたフェスタ

10月21日(日) 10:30～15:00

♪「あなたにあげる」

- 餅投げ ● 飲食バザー
- キッズコーナー ● ビッグバンド など

豊田福寿園

川中美幸特別ショー



30周年記念 豊田福寿園文化祭

10月14日(日) 10:00～15:00

♪「二輪草」「ふたり酒」

- 餅投げ
- 食品バザー など

寝たきり社長が問う 「働く」ということ

講演

株式会社 仙拓
代表取締役社長

ひさむ
佐藤 仙務氏

私は難病の「脊髄性筋萎縮症」です。

今は、顔と親指しか動きません。

でも、まだまだ人生を輝かせたいと、

精力的に活動しています。

「寝たきり社長」として、

「東海市ふるさと大使」として、

大学教員、企業アドバイザーとして。

今もいろんな挑戦をしているところです。

- 1991 愛知県東海市に生まれる
- 1992 10万人に一人が発症する難病「脊髄性筋萎縮症」の診断を受ける。
- 2010 愛知県立港養護学校商業科を卒業
- 2011 合同会社仙拓を創立
- 2012 『働く、ということ 十九歳で社長になった重度障がい者の物語』を刊行
- 2013 合同会社仙拓を株式会社組織変更
- 2016 東海市ふるさと大使 就任
- 2017 特定非営利活動法人ハンスオン東京 アドバイザー就任
- 2018 椋山女学園大学 非常勤講師(委嘱)



みんなではぐくむ福祉の心
第6回 感謝の集い

入場
無料

ご入場の際は整理券が必要となります。

〈整理券配布場所〉

武豊町社会福祉協議会、武豊町民会館
武豊町中央公民館、武豊町総合体育館
武豊町保健センター及び武豊福寿園
くすのきの里、ケアハウスきぬうら、東海福寿園

平成30年

11/23

金祝

武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)

午後1時30分～午後4時
開場=午後12時30分

主催/社会福祉法人福寿園、福寿園をはぐくむ会「未来」
後援/武豊町、武豊町議会、武豊町教育委員会、武豊町社会福祉協議会

Program
プログラム

第1部 「福祉の絵手紙」表彰他

第2部 寝たきり社長が問う「働く」ということ
株式会社 仙拓 代表取締役社長 佐藤仙務氏講演会

お問合せ

武豊福寿園 TEL (0569) 72-8811
くすのきの里 TEL (0569) 74-1688



福寿園をはぐくむ会「未来」



平成30年9月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
■理事長/山田浩三 <http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。

vol.141 20